加藤恭子ゼミナール登竜門企画「２０歳の頃」

～求められる人物像とは？～

Ｂ班：奥山・髙橋・永井・柳澤

＜はじめに＞

私たちは、企業や組織の方に、「２０歳のころ」をお聞きして、現代に求められる人物像について調べました。特定の業種だけではなく、様々な業種の方々にお話を伺い、どのような人物像が求められているのかを知り、将来の糧にすべく、以下の方々にインタビューさせていただきました。

＜お話を伺った方々＞

・特定社会保険労務士　　家村　啓三先生

・ヨネックス株式会社
（会社の都合により掲載は出来ないそうなので会社名だけ載せさせていただきました。）

・全国農業協同組合（JA 全農）人事部　人材育成課　西野　博文様

なぜ、私たちが今回上記の企業の方々にインタビューさせていただいたのか？

三社の企業に訪問させていただき、現代に求められる人物像をお聞きしました。なぜ、三社なのかというと、特定社会保険労務士は私たちが人事労務を学ぶ上で注視していくべき事や、今話題のブラック企業問題についてどのように考えていくべきか学ぶため、ヨネックス株式会社は 2020 年東京オリンピックによる日本経済の発展にスポーツという分野で貢献しているため、全国農業協同組合（JA 全農）は日本の食糧自給率低下や TPP などの私たちの身の回りに大きな影響を及ぼしていることについて考え、これからの日本について学ぶためです。今、必要とされている分野の第一線で活躍される方々にお話を伺いました。

＜インタビュー内容＞
① インタビューさせていただいた方々の「２０歳の頃」

家村　啓三先生

ご本人曰く、２０歳までほとんど勉強をしなかったとか。しかし、２０歳の時、元検事の大学の先生と出会い、世の中の多くのことについて学び、勉強を本格的に始めたそうです。また、数多くのアルバイトにチャレンジし、仕事をすることの大変さを認識したそうです。

西野　博文様
大学は学びたかった日本史を学ぶため文学部に進学。経済学や法学などの実学も一生懸命学んだそうです。また、日本史のゼミに入り勉強していたそうです。サークルはダンスサークルに所属していたそうです。ダンスサークルでは多くの人の前でダンスを披露したり、ステージの企画立案等を行い一所懸命に励んでいたそうです。その活動が今のお仕事の糧になっているそうです。

② 仕事をする上で大切にされていること

家村　啓三先生

1.　誰に対しても平等な立場で物事を判断すること
（特定社会保険労務士という立場である以上、どんな人が相手でも常に平等な立場でいること。）
2.　人の気持ちを理解できるようになること
（人の気持ちがわかってこそ、問題を解決できるようになる。）

西野　博文様

1.　意欲がある人に道を作ってあげること！！
（自分で組織に貢献しようと頑張っている人、努力している人に道を作ってあげることを心がけている。）
2.　信頼関係
（信頼関係を気づくことが仕事において大切。）
3.　常に平等な視点で物事を見ること
（常に**「ヒト」**と関わる仕事なので誰に対しても公平に接していくこと。）

③ それぞれのお話を聞いて得られたこと

家村　啓三先生

家村先生自身、学生時代は遊んだり、勉強したり、多くの経験をしました。それらの経験から得られたことは、一見無駄なことに見えても、自分の将来に役に立つことがあるということ。新聞を読むことで現代に起きていることをしっかり把握してそれが正しいかどうか自分で考えること、行動にはメリハリをつけ、やり遂げることが大切であると言うこともおっしゃっていました。目の前にあることを一つ一つこなしていくことが将来に確実につながっていくということを家村先生はおっしゃっていました。

西野博文様

JA 全農の西野様に今回インタビューさせていただき得られたことは、**「ヒト」**とのつながりを大切にすることです。JA 全農という組織は日本の「食」を第一に考え、支えています。そのためには、農家の方々や食品メーカーの方々との信頼関係やコミュニケーションが欠かせません。**「ヒト」**と付き合うことはそう簡単ではなく、良いこともある反面、上手くいかないこともあります。大変なことも多いのですが、多くの**「ヒト」**とつながりを持ち、自分の意見をしっかりと伝え、相手の意見は真摯に受け止める、これがとても大切である、とのことです。

～今回のインタビューを終えて～

今回、御三方に貴重なお時間をいただき、インタビューしました。
そのインタビューから見出された現代に求められる人物像は、以下のことでした。

① 学生時代には積極的にいろいろな活動をすること
② いろいろな活動の中から、自分が最も好きなこと、やりたいことを見つける
③ 自分が最も好きなこと、やりたいことを極めるため、自分に何が不足しているのか、現状分析すること
④ 目標達成のため、計画を実行する事、実行し、絶えずその行動を振り返り、改善すること

※つまり、**Plan・Do・Check・Action** を確実に行える「ヒト」になること！！！

今回多くの方々に協力していただき、良い発表を成功させることが出来ました。社会人になることについて改めて考え、学生の私たちに今何が求められているのかについて考える機会が頂けたことは、私たちにとって、大きな糧となります。今後も、ゼミ活動に励んでいく所存です。協力していただいた企業の方々、加藤先生、先輩方、本当にありがとうございました。